

【1】次の(1)～(4)の四角形 ABCD について、平行四辺形になるものをすべて選びなさい。ただし、対角線の交点を O とします。

(1) $\angle B = \angle D$ 、 $\angle ACB = \angle CAD$ となる四角形 ABCD

(2) $OB = OD$ 、 $\angle OBA = \angle ODC$ である四角形 ABCD

(3) $AB \parallel DC$ 、 $\angle A = \angle C$ である四角形 ABCD

(4) $AB = DC$ 、 $AB \parallel DC$ である四角形 ABCD

(5) $BC \parallel AD$ 、 $AB = DC$ である四角形 ABCD

(1、2、3、4)

【2】平行四辺形 ABCD の辺 DC を延長した辺上に、 $DC = CE$ となる点 E をとります。このとき、四角形 ABEC が平行四辺形になることを証明しなさい。

四角形 ABCD は平行四辺形なので、

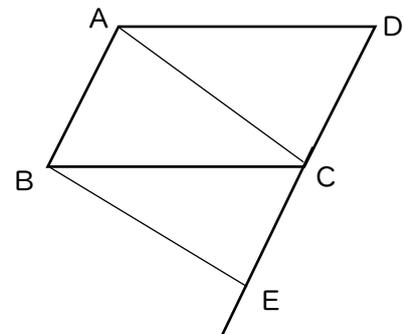
(AB) = (DC) ……①

また、仮定より (DC) = (CE) ……②

①、②より、(AB) = (CE) ……③

また、(AB) \parallel (DC) より (AB) \parallel (CE) ……④

②、④より、(平行四辺形の1組の対辺が平行で長さが等しい) ので、四角形 ABEC は平行四辺形である。



※ $\triangle ACD$ と $\triangle BCE$ の合同を証明して、同様の結論にすることもできる。